

電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

第245号

令和4年
(2022年)

発行 11月30日 年4回発行

発行

全国電子部品流通連合会

東京都文京区湯島3-6-1

<http://www.jep.gr.jp/>

電話 東京 03(3832)4295

企画編集 家電流通研究センター



リアルでシーテック2022に参加

全国電子部品流通連合会（JEP）は、10月18日～21日、幕張メッセで開催された「シーテック2022」に参加し、『JEP会員名簿2023』とエコバックを配布した。ブースには関係者らが交代で立ち、JEPについて説明する姿が見られた。写真は、シーテック2022の会場。

■全国電子部品流通連合会・総会

- 総会／議案審議
- 特別講演会

CONTENTS

- ◎全国電子部品流通連合会第48回通常総会 … 2
- ◎特別講演会 … 9
- ◎KEP／リモートセミナー … 12
- ◎シーテック2022閉幕 … 13
- ◎JEP／TEP Show 意見交換会 … 14

JEP 全国電子部品流通連合会
JAPAN FEDERATION OF ELECTRONIC PARTS DISTRIBUTORS & DEALERS

全国電子部品流通連合会 第48回通常総会

新会長に屋宮芳高氏が就任

全国電子部品流通連合会

(JEP) は10月19日、第48回通常総会を全国家電会館で開催した。総会前にはJEP理事会が開催され、事務局からは、「2023 JEP会員名簿協賛広告について」「電子機器トータルソリューション展2022について」「2022年度収支予算(案)承認について」などの報告と提案が行われ、承認された。

刃勤事務局長が担当。開催に当たり、岡本弘会長から以下のように挨拶があった。

「本日はお忙しい中、全国電子部品流通連合会(JEP)の総会にお越しいただき、ありがとうございます。」

活動式も変わり、ビジネスでも対面での営業活動も行うことができなくなり、WEB会議が主流になりました。

中国のロックダウンの影響や、ロシアによるウクライナへの侵攻で、製品や部品が入ってこない問題が長引くなど、国内外の情勢は目まぐるしく変化しております。

供給・需要両面で半導体不足の解消に向けた動きはあるものの、自動車工場の稼働調整は引き続き行われているなど、バランスは戻っているようにも思いますが、まだまだ影響があるかと思えます。しかし今後の状況は、私は円安を含めて大きく変化してくると思っています。

JEPは、今年で48年目を迎えました。このような状況ではありますが、3年ぶりに懇親会も開催されることになり、一堂に会することができ、大変嬉しく思います。

また14年間、会長を務めることができたのも、皆様方のご支援のおかげです。私はこの総会をもって退任いたします。この後の総会で新会長を承認させていただきますが、新会長には変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。」

総会では、議長に岡本会長、副議長に小口幸士理事を迎え、以下の議案について、審議が行われ、すべて承認された。

第1号議案・2021年度事業報告承認の件

第2号議案・2021年度収支決算報告並びに監査報告承認の件

第3号議案・2021年度剰余金処分案承認の件

第4号議案・2022年度事業計画(案) 決定の件

第5号議案・2022年度収支予算(案) 決定の件

岡本弘会長の挨拶

総会は、司会をJEPの渡

本日は、リアルで総会を開催されることを嬉しく思います。総会後に懇親会を予定しておりますので、出席いただき、コミュニケーションを図っていただければ幸いです。

新型コロナウイルスの変異株の流行から、もう少しで3年が経とうとしています。生

活様式も変わり、ビジネスでも対面での営業活動も行うことができなくなり、WEB会議が主流になりました。

中国のロックダウンの影響や、ロシアによるウクライナへの侵攻で、製品や部品が入ってこない問題が長引くなど、国内外の情勢は目まぐるしく変化しております。

供給・需要両面で半導体不足の解消に向けた動きはあるものの、自動車工場の稼働調整は引き続き行われているなど、バランスは戻っているようにも思いますが、まだまだ影響があるかと思えます。しかし今後の状況は、私は円安を含めて大きく変化してくると思っています。

JEPは、今年で48年目を迎えました。このような状況ではありますが、3年ぶりに懇親会も開催されることになり、一堂に会することができ、大変嬉しく思います。

また14年間、会長を務めることができたのも、皆様方のご支援のおかげです。私はこの総会をもって退任いたします。この後の総会で新会長を承認させていただきますが、新会長には変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。」

総会では、議長に岡本会長、副議長に小口幸士理事を迎え、以下の議案について、審議が行われ、すべて承認された。

第1号議案・2021年度事業報告承認の件

第2号議案・2021年度収支決算報告並びに監査報告承認の件

第3号議案・2021年度剰余金処分案承認の件

第4号議案・2022年度事業計画(案) 決定の件

第5号議案・2022年度収支予算(案) 決定の件



岡本会長



鶴田専務理事



角田副委員長



屋宮委員長



通常総会をリアルで実施

第6号議案・2022年度会費及び会費徴収方法決定の件
第7号議案・役員変更の件
第8号議案・その他

〈第1号議案〉

2021年度事業報告承認の件では、「事業概況」について、鶴田哲司専務理事から、以下のように報告された。

電子電機部品業界を取り巻く環境は、2021年第1四半期から始まった電子部品の供給不足により、世界中の組み立てラインが停止するなど影響が生じていたが、BCP計画の強化や電子部品メーカーの国内生産強化に向けた設備投資などの対応に追われた。このような状況下、FA機器、半導体製造装置や5G通信基地局、データセンターなどの産機系の部品需要は、

堅調さが継続した。また、あ

らゆる産業分野で技術革新が促進され、高性能な電子部品を必要とする新たな用途を生み出していた。

当連合会は収入財源確保のための事業として、2021年度もPL保険の斡旋事業を実施し、収入増を図った。支出面においては、会議費の経費削減および新型コロナウイルス感染症防止対策として、2021年10月20日、2022年3月2日に、JEP理事会WEB会議を実施した。

「CEATEC2021」は、幕張メッセ開催からオンライン開催に変更となったが、協賛団体として参加した。また、「電子機器トータルソリューション展2021」および「電子機器トータルソリューション展2022」は、JEP/TEP Showとして運営参画し、「2022JEP

P会員名簿」の配布等、当連合会活動等の啓発を図った。
事業運営に関する事項

庶務事項

組織構成および組合員数については、2022年8月31日現在において、組合員数が235社となり、昨年度より2社減、役員総数35名であることを報告。

会議開催の概要については、第47回通常総会を令和3年10月20日、書面総会で開催。第1回理事会を令和3年10月20日に、全国家電館1階会議室において、WEBで開催。第2回理事会を令和4年3月2日、WEBで開催。第3回理事会を令和4年7月6日、全国家電館1階会議室(リアル)で開催したこと

を報告。
「シートテック」および「JEP



川鍋委員長



市村副委員長



鳥居会計理事

平松監事



●組織委員会(後藤勝委員長、角田浩永副委員長)

委員会活動

また電子機器トータルソリューション展2021および同2022が、令和3年10月27日～29日と令和4年6月15日～17日に開催され、それに伴い、委員会を開催したことを報告。

伊佐野監事



令和3年10月20日には、NTT東日本南関東東京事業部ビジネスイノベーション部担当部長の黒瀬光庸氏を講師に招き、「DX事例から学ぶ!! 未来への備え方」をテーマにしたWEB講演会を開催したことを報告。

機関誌「全国電子部品流通」を、年4回発行したことも報告。

令和3年10月20日には、NTT東日本南関東東京事業部ビジネスイノベーション部担当部長の黒瀬光庸氏を講師に招き、「DX事例から学ぶ!! 未来への備え方」をテーマにしたWEB講演会を開催したことを報告。

●教育情報委員会(屋宮芳高委員長、鶴田哲司副委員長)

屋宮委員長は、「シートック2021」オンライン展示会に参加し、JEPの周知、組合員企業のPRを図ったことを報告。

角田副委員長は、平成9年

とを報告。

●流通近代化委員会(川鍋季明委員長、江見佳之副委員長)

川鍋委員長は、2018年10月にリニューアルしたJEPホームページへのアクセス件数が、20年が24万7087件、21年が14万5482件、22年1月～6月が7万9645件になったことを報告。

「電子機器トータルソリューション展2021」を、令和3年10月27日～29日まで東京ビッグサイト南展示棟1・3ホールで開催。JEPは、JEP/TEP Showとして参画。

「電子機器トータルソリューション展2022」を、令和4年6月15日～17日まで東京ビッグサイト東展示棟4・6ホールで開催。全国電子部品流通連合会は、JEP/TEP Showとして参画したことを報告。

●労務委員会(中西日出喜委員長、市村康徳副委員長)

市村副委員長は、収入財源確保のために今年度もPL保険の募集案内を実施したこと

を報告。 拠出型企業年金保険の推進については、今年度も新規加入促進を実施したが、大きな成果を得ることができなかったことを報告。

新役員名簿

会 長〔東京〕	屋 宮 芳 高 (新任)	日の丸無線通信工業株式会社
副 会 長〔近畿〕	江 見 佳 之 (新任)	東亜無線電機株式会社
副 会 長〔中部〕	坂 明 憲 (新任)	名古屋理研電具株式会社
専務理事〔東京〕	松 本 年 生 (新任)	アール電子株式会社
会計理事〔東京〕	島 居 和 久	島居電業株式会社
理 事〔東京〕	廣瀬美智俊	廣瀬無線電機株式会社
	足 立 哲 雄	株式会社三誠
	藤 原 幹 人	株式会社ジュバ
	小 池 一 義	田中無線電機株式会社
	川 鍋 季 明	株式会社三共社
	飯 田 和 信	飯田通商株式会社
	角 田 浩 永	角田無線電機株式会社
	坂 本 明	千代田電子機器株式会社
	市 村 康 徳	金大電子産業株式会社
	花 岡 克 己	花岡無線電機株式会社
	藤 巻 宏 直 (新任)	メトロ電気株式会社
理 事〔近畿〕	鶴 田 哲 司	ツルタ制御機器株式会社
	後 藤 勝	株式会社日本電化工業所
	平 松 達 弥 (新任)	株式会社ヒラマツ
	岡 本 崇 義 (新任)	岡本無線電機株式会社
理 事〔中部〕	高 柳 秀 孝	協和電機株式会社
	堀 見 徳 (新任)	株式会社金馬
	井 上 智 介 (新任)	ミクニ電機株式会社
理 事〔関東〕	柳 田 佳 克	柳田機器株式会社
	塩 入 秀 春	株式会社デンセン
理 事〔中・四国〕	中 野 和 久	東和電子株式会社
	三 上 映 徹	松本無線パーツ株式会社
理 事〔九州〕	小 口 幸 士	創ネット株式会社
	伴 野 豪	西日本ラジオ株式会社
監 事〔東京〕	伊 佐 野 勝 利	日昭無線株式会社
〔近畿〕	中 西 日 出 喜 (新任)	ミカサ商事株式会社
相談役〔近畿〕	岡 本 弘 (新任)	岡本無線電機株式会社
顧問〔東京〕	堀 内 寛	大和無線電機株式会社
〔東京〕	藤 木 正 則	中央無線電機株式会社
〔中部〕	渡 邊 唯 志 (新任)	NNP株式会社

〈第2号議案〉

第2号議案の「2021年度収支決算報告並びに監査報告承認の件」では、鳥居和久会計理事が貸借対照表、2021年度収支計算書を基に報告。また平松達弥監事は、監査意見書において、適正な内容であることも報告した。

〈第3号議案〉

第3号議案の「2021年度剰余金処分(案)承認の件」では、鳥居会計理事が期末未処分剰余金を、次期繰越金とすることを報告。

〈第4号議案〉

第4号議案「2022年度事業計画(案)決定の件」では、事業推進の基本方針につ



屋宮新会長が挨拶

いて、鶴田専務理事から以下のように報告された。

1. 社会・業界に貢献できる組織の確立と連合会活動の推進
2. グローバル化する経済環境に対応できる流通業の経営体質強化
3. JEPホームページの充実と機関誌『電子部品流通』の充実
4. シーテックおよび電子機器トータルソリューション展への積極的参加
5. 人材確保と人材育成による能力開発の推進

●役員会(理事会)開催

JEPの円滑な運営と、地区組織活動の活性化を図るために、以下の通り役員会を開催することを報告。

- ・理事会／3回(2022年10月、2023年3月、2023年7月)

●委員会の活動方針

事業の円滑な推進を図るため、各委員会から以下の通り、委員会活動を積極的に推進することが提案された。

〈組織委員会〉

1. 社会・業界に貢献でき得る組織の確立

る組織の確立

2. 組合員加入促進による地区組織の拡大強化
3. 地区事業活動の積極的支援による組織力の充実強化
4. 会員相互の親睦と協調のための活動推進
5. その他必要事項の実施

〈流通近代化委員会〉

1. 「シーテック2022」および「電子機器トータルソリューション展2023」への積極的参加
2. JEPホームページとメーリングリストを構築し、会員相互の情報伝達を図る
3. 各種講演会の開催
4. その他必要事項の実施

〈教育情報委員会〉

1. 機関誌『電子部品流通』を年4回発行
2. 機関誌『電子部品流通』の充実
3. その他必要事項の実施



高原事務局長

〈労務委員会〉

1. 拠出型企業年金保険への加入促進
2. PL保険への加入促進
3. 働き方改革の啓発と推進
4. 少子高齢化への人材確保と人材育成
5. 労務関連資料提供による情報の共有化
6. その他必要事項の実施

〈振興対策事業〉

1. 地区組織が行う各種研究会、講習会の実施協力
2. 功労者表彰
3. 友好団体事業に対する積極的協力
4. その他必要事項の実施

〈第5号議案〉

第5号議案の「2022年度収支予算(案)決定の件」では、鳥居会計理事が収支予算案を基に提案。

〈第6号議案〉

第6号議案の「2022年度会費及び会費徴収方法決定の件」について、鳥居会計理事が提案。

〈第7号議案〉

第7号議案の「役員変更の件」では、役員名簿(案)を提案(新役員名簿参照)、承認された。

屋宮新会長 挨拶

全議案が承認された後、役員変更に伴い、新会長に屋宮芳高氏が就任し、以下のように挨拶した。

「岡本会長、渡邊副会長には長く役職を務めていただき、本当にお疲れ様でした。

新体制は、私と江見副会長、坂副会長ということで、責任の重さを痛感している。ぜひこれからも、我々にご指導をお願いしたい。

やっと新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたが、どうなるか分からない。しかし、以前のような形になってきたと感じている。

電子部品の状況も、まだまだ問題はありますが、元に戻つつある。そういう意味で、早く通常の状況に戻るよう、期待している。しかし、まだどうなるか分からない状況であり、ウクライナ侵攻により、エネルギー、食料などで大変

なことになっている。円安、為替の問題もある。そして、市場としての中国、生産拠点としての中国の立場を疑問視し、他国、国内での生産を検討する会社も増加している。

これからどうなるか分からないが、我々も厳しい環境の中で、どのようにお客様に部品を供給するかを考えなければならぬ。今まで以上に全国

のネットワークを活かし、部品をお客様に供給できるような全国組織を目指したい。」

続いて、日本電子回路工業会の高原邦夫事務局長は挨拶の後、来年度の電子機器トータルソリューション展2023について、以下のような説明があった。

「2023年からJEP/TEP Showは、大きなチャレンジを行う。展示会は、エレクトロニクスコン

ポネント&ユニットショーと名前が変わる。この名称変更は、出展内容と出展品目が名前に反映されることになる。

2023年の展示会は、5月31日～6月5日、東京ビッグサイトで開催される。

特に、電子機器によって何ができ、どんな機能となるのかを展示し、ビジネスにつなげていただくことを趣旨に開催させていただく。

コロナにより、DX、仮想空間などの技術が出てきているが、現在のところ、リアルが一番になる。その道のプロが多く集まる展示会においてディスプレイションをしていた

とき、新たな技術の展開をいただければと思う。電子部品の流通を生業とする皆様と、この展示会を盛り上げていくつもりなので、よ

ろしくお願いしたい。」

●地区情勢報告

この後、地区情勢報告が行われた。

東京都電機卸商業協同組合 (TEP・屋宮芳高理事長)

最近ではコロナも落ち着き、リアルでの行事も増えた。

4月は新鋭社員研修を実施。残念ながら毎年2回、開催する野球大会は中止となった。

4月4日～6日に掛けては、第44回新鋭社員早期戦力化セミナーを実施。4月11日は、昨年入った社員向けに1年後フォローアップ研修を実施。

正副理事長・委員長会議はリアルとWEBで実施。4月、5月、7月の理事会と総会を開催することができた。

また、6月にはリアルで電

子機器トータルソリューション展2021を実施。

また、電子部品に詳しくない社員を対象にした電子部品の基礎講座を7月に実施。

9月には新鋭社員6ヵ月後フォローアップ研修を実施。さらに2年6ヵ月ぶりに第107回野球大会を開催。

今後は、シートックもリアルで開催されており、参画。11月には正副理事長、委員長会議と理事会を開催予定。

また、成果を上げるハイインパクトコミュニケーション研修を、11月と来年2月に開催予定。

12月の忘年会も、今年はリアルで行う予定。

1月には新年名刺交換会を実施予定。さらに、正副理事長・委員長会議も開催予定となっている。

近畿電子部品卸商組合 (KE

P・江見佳之理事長

KEPの活動として、6月の総会で新体制になった。

7月例会は、平松達弥副理事長の組織厚生委員会が担当し、「浪華よもやま話」という、地元に関するテーマでの講演会をリモートで開催した。

9月例会は、岡本崇義副理事長が委員長を務める広報委員会

の担当で、社労士を招き、労働関係の法律改正のポイントについて解説いただいた。また、リアルとリモートでの開催となり、KEP会員、賛助会員に加え、TEP、CEP、CSEPからもご参加いただいた。

今後は11月24日、鶴田哲司副理事長が委員長を担当する教育研修委員会の主催で、11月の例会をリアルで開催する。新型コロナウイルス感染



屋宮理事長 (TEP)



江見理事長 (KEP)



坂会長 (CEP)



柳田会長 (NEP)



中野会長 (CSEP)

症の感染者数がリバウンドしており、気になるところではあるが、開催する予定。

「生き残り、勝つ残る経営戦略」というテーマで、コンサルタントの方に講演いただく。

またセミナー終了後、慰労懇話会を開く。今年の6月までの20年間、KEP理事長を務め、さらにJEP会長を14年務められた岡本弘様と、6月までKEP役員を17年務められた大和無線電器取締役会長の公文雅人様の慰労を同時に行う。また、総会時に延期となった懇親会も行う。

11月25日は、ゴルフコンペを行う。

来年1月には新年賀詞交歓会、2月は新春ボウリング大会、3月は1泊2日の予定で、CEPとの交流を含めた視察研修旅行を行う。



小口会長 (KRP)

中部電子部品流通業協議会 (CEP・坂明憲会長)

CEPは、コロナの影響によってなかなか活動できていないが、イベントを開催できるように、進めてきた。

4月に総会を開催し、懇親会も実施。この総会において、CEPの会長を仰せつかった。

7月には、3年振りとなるボウリング大会を実施。通常、1レーン4名で実施していたが、1レーン2名で十分な間隔を取り、従来と同様の参加者数となった。

11月は、CEPの理事の皆さんと共に、会員企業の皆さんに参加することでメリットを感じていただけるようなことを考え、SDGsへの宣誓を会員企業の7割にお願いしようと考え、そのためにセミナーを開催し、SDGsを宣



金指課長

誓するための具体的な流れを学ぶ。

来年1月は賀詞交歓会を予定しており、皆様に参加していただけるように準備を進めている。また、SDGsの宣誓だけでなく、DX、IT化するための教育や講演会を進め、CEPに加盟することでメリットがあることを理解いただけるようにしていく。

関東申信越電子制御部品流通協議会 (NEP・柳田佳克会長)

関東申信越の今年の活動だが、通常、年1回の活動をしてきたが、今年は色々活動しようということで4月に臨時理事会を開催し、話し合いをした。その中で、賛助会員に3社のメーカーがいるので、この3社から講演をしていただいている。

6月に開催する予定だった



伊藤所長

通常総会を中止し、第41回定期総会を書面で開催した。

その後、三菱電機によるWEB講演会を開催した。演目は、「e-F@ctoryで省エネを実践している福山製作所の取り組み」となり、中身はカーボンニュートラルの潮流や戦略、三菱電機の取り組み事例、自社製品を活用したデマンド管理などについての講演となった。我々を取り巻く環境問題に対し、勉強となった。

今後の予定は、11月には賛助会員による講演会を予定している。

現在のNEP会員は、3月に1社が退会しており、現在



感謝状を贈呈

14社の正会員、3社の賛助会員で17社の会員数となる。

引き続き、会員拡大に向けて活動していきたい。

我々を取り巻く環境だが、全般的に供給制約の問題に加え、原材料価格の高騰などにより、企業収益が悪化しているように見受けられる。

納期遅延問題や値上げラッシュ、メーカーからの生産中止の案内などもあり、売り手市場だと感じている。

中・四国電子制御部品流通協議会 (CSEP・中野和久会長)

CSEPは、コロナが始まってから2年半の間に、会員1社が会社を閉鎖、賛助会員が3社退会し、正会員19社、賛助会員5社となり、24社の会員数となっている。

今年4月からリアルで総会を開催し、総会の講演は、これから始まる電子帳簿保存法とインボイス制度について講演をいただいた。7月は、日東工業による商品説明。8月は、法務省による安全保障についての講演をいただいた。

広島経済活動は、ヒルト



渡邊副会長

ンホテル広島が先日、開業した。開業と同時に、商工会議所のアイリスオーヤマの大山会長から講演をいただいた。大山氏は、「我々はプロダクトインではなく、ユーザーインで物を作っている」という話を聞き、大変に参考になった。我々もお客様が求める物を供給しなければならなと感じた。物不足の中ではあるが供給に努め、経済発展に寄与したいと考えている。

九州電子流通業協議会（KR P・小口幸士会長）

KRPは、正会員9社、賛助会員6社、計15社で運営している。

昨年12月にオンラインカンファレンスということで、基盤の設計や基盤の基礎について、会員会社から2名の方に講師になっていただき、研修を行った。

今年1月、福岡エレコン交流会というソフトウェア関係、情報産業系の団体と、福岡市機械金属工業会というモノ作りの業界団体と3団体で、合同で新年賀詞交歓会を開催。また、福岡地域戦略推進協議会から講師を迎え、産学官民連携で考える未来の街づくりに向けて」というテーマで講演も実施。

5月には定時総会を行わず、書面決議を行い、6月に記念講演会を行った。

8月にビーパーティーを行う予定だったが、コロナの影響で、やむなく中止とした。今年11月・12月に掛け、レクリエーション、もしくはワークシヨップのようなものを開催したいと考えている。

岡本氏と渡邊氏に感謝状贈呈

地区情勢報告終了後、経済産業省商務情報政策局情報産業課課長の金指壽氏と、香港貿易發展局東京事務所所長の伊藤正裕氏から、来賓挨拶が行われた。

続いて感謝状の贈呈式が行われ、屋宮新会長から岡本弘

会長と渡邊唯志副会長に感謝状と記念品が贈呈され、盛大な拍手が送られた。

岡本会長は「皆さんに支えていただき、任期を全うできた。私は、2020年に叙勲をいただいたが、これも組合のお陰と思っている。

JEPの発展を祈念させていただく」と語った。

総会の最後、渡邊副会長は、「コロナによって、多くの活動が制限を受け、代わりにWEBを使った活動に置き換わっている。従来はリアルでないとできなかったことが、リモートでもできるようになったが、リアルでないのだめなものも再認識できた。

今回の懇親会は、会員の皆さんと懇親を深め、意見交換する貴重な場。皆で和気藹々と懇親を深めたい。

この総会をもって、副会長を退任することになった。皆様に感謝を申し上げる。

屋宮新会長の新たな体制でJEPがスタートする。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます」と閉会の挨拶を行った。

懇親会を盛大に開催

その後、東天紅に会場を移し、懇親会が開催された。

懇親会では、総会で副会長に選出された江見氏が「今総会では、会長、副会長が交替し、屋宮氏が会長、私とCEPの坂氏が副会長となった。

屋宮会長をバックアップできればと思っているが、若輩者なので皆様のご指導とご支援をいただければと思う。

これから、色々と形は変わると思うが、下支えとして電子部品業界が活躍すれば、イノベーションの波をさらに大きくすることができると確信が持てた」などと挨拶し、乾杯が行われた。



乾杯の挨拶を行う江見副会長



坂副会長が閉会を宣言

杯が行われた。

懇親会は、コロナ対策というところで着座しての実施となったが、至るところで名刺や情報を交換し、歓談する姿が見られた。

また、閉会の挨拶には坂副会長が立ち、「岡本前会長と渡邊前副会長の最後に、こうやって集まり、大きな声で笑い合える会ができ、本当に良かった。両氏の永年の功績に、心から感謝をお伝えしたい。ありがとうございます。

新体制ということで、皆さんにご迷惑をお掛けするかと思うが、ご協力をお願いしたい」と語り、一本締めで懇親会は閉会した。

特別講演会

「イノベーションの波」について講演

全国電子部品流通連合会（JEP）は10月19日、第48回通常総会終了後、特別講演会を開催した。

講師には、元シャープ取締役社長・会長、現在はKcncept社長、東京大学生産技術研究所の特別顧問を務める片山幹雄氏を招き、「イノベーションの波」について講演が行われた。

片山講師は「どのようなイ



特別講演会を開催



片山講師

ノベーションの波がきて、どのような影響を与えたのか、国や地域に与えた影響、イノベーションの波に吞まれて企業がなくなったり、成長したりしてきた。その原因が何なのか、お話ししたい」と挨拶し、以下のように講演した。

イノベーションとは何か、最近ではスマートフォンがイノベーションで作られた。そ

して、人類はイノベーションの波の繰り返しになる。

経済を学んだ方は、ケインズ経済、マルクス経済を学んだかと思う。目立たない経済学者でシュンペーターがい

る。

彼は、イノベーションが産業を変化させ、競争を激化させる。経済とイノベーションはリンクし、イノベーションが起きることで経済が成長すると言っている。

人類の歴史を私なりに見返すと、火の発明がある。これは数万年前のイノベーションだった。

つい最近では蒸気機関が発明され、電気、車、飛行機が発明された。直近では、コンピュータの発明により、今の仕事が大きくなった。半導体、液晶ディスプレイの発明もあった。これは30年、50年前のことになる。

すべて、イノベーションが起きたことで、産業ができた。次のイノベーションが何かと言え、私も分からない。

しかし、キーワードは分かる。エネルギー分野で言うと、太陽光発電の注文が、昨年の2・

5倍もきている。ヨーロッパでは戦争をきっかけに、電気が5倍になった。ガスもない。そのため、太陽電池の巨大事業が始まった。再生可能エネルギーの時代が再度、くるかもしれない。

自動車分野のEV化、自動運転は間違いなくくる。新しいサービスも始まると思う。忘れてはならないロボット

技術も進化している。日本はとんでもない田舎で、どの企業も国内に工場を作ると言い出した。しかし、人が集まらない。タイやベトナムから人がこない。今こそ日本はロボットを進めないと、物も作れなくなる。

ロボット技術は進化するであらうし、5G、AI、メタバースが波を作ると思われる。

さて、人工知能についてだが、カーツワイルという人がいる。彼はコンピューター学

者でもあるのだが、人工知能やコンピューターが進化すると、2045年には1千ドルクラスのパソコンが、全人類の数よりも増えると予測している。

AIは、技術開発に組み込まれているが、日本においては活用が遅れている。アメリカやヨーロッパでは、薬品開発、材料開発などに使われている。さらにマーケティングや経営管理にも、AIが入っている。医療診断でもAIの導入が進んでいる。

我々も、AIを経営に入れなければならない。10年後、AIの波がくるので、勉強しておく必要がある。

我々は、2045年に立ち会うことになるだろう。コンピューターに左右されて生活する時代になり、自動運転やロボットも当たり前になる。それらを考えて行動していただきたい。

世界に広がる ネットワーク

◆海外販売拠点

中国: 香港、深圳、成都、広州、重慶、上海、大連、合肥
タイ: バンコク、シヤンマイ、ラングーン、ピタヤローク
マレーシア: クアラルンプール、ジョホールバル、ペナン
ベトナム: ホーチミン、ハノイ
シンガポール、フィリピン

◆海外生産工場

中国、タイ、ミャンマー

○主な取扱メーカー

ヒロセ電機	ローム	シャープ	ニチコン
ソニーセミコンダクタソリューションズ	岡谷電機産業	タムラ製作所	
東京エレクトロニクス	双信電機	放熱器のオーエス	SEMITEC
竹内工業	FDK	坂東電線	大真空
タカチ電機工業	沖電線	サガミエレクト	Ambiq Micro

飯田通商株式会社
IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co., Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-3
TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213
<http://www.iida-tusho.co.jp/>



NNP GROUP

Living & Working Together

NNP株式会社

<http://www.nnp.co.jp/>

営業品目: 電子部品、電子ユニット、電池、モータ、FA等の販売
OEM・ODM・設計開発の請負

本社: 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号 大東海ビル2F
〒450-0002 TEL: 052-561-2571(代) FAX: 052-561-2595

営業拠点: 東京・静岡・大阪・香港・タイ

関連会社: NNP電子株式会社

取扱メーカー: パナソニック(株)・村田製作所・京セラ(株)
ニチコン(株)・ミネベアミツミ(株)・新旭電子工業(株) 他

HAMADA

制御部品、パソコン周辺機器、監視・防犯システムの総合商社



FA 制御部品

独自の
お客様の
ニーズに
応える



PC周辺関連機器

浜田電機株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 TEL: 03-5651-7351 (代表)

秋葉Direct TEL: 03-6825-3180 <http://www.akibadirect.com/>

<http://www.hamada-dk.com/>

プラスの価値が存在する。

千代田電子機器は商社としてのパーツの供給のみならず、
設計・加工・アッセンブリーと柔軟な対応を可能にしました。
現在は新たにGPSの分野にも活躍の場を広げ、
ますます多様化するお客様のニーズに対応でき
るよう、サポートグループとも一体となって、
総合的なサービスを提供していきます。



CES 海外営業・購買窓口 シンガポール	CEH 海外営業・購買窓口 香港	CSH 海外営業・購買窓口 上海
MES 国内ASSY工場 株式会社エムイーエス	PST GPS関連商品開発 ボジション株式会社	



千代田電子機器株式会社
CHIYODA ELECTRONIC CO., LTD.

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-9 Tel. 03-3253-9561
U R L: <http://www.cec-chiyoda.co.jp>

主要取扱メーカー

パナソニック / パナソニック デバイスSUNX / NKKスイッチズ
ティアック / 小峰無線電機 / ボジション / コーセル /
PROLIFIC TECHNOLOGY



電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp

お客様のニーズに合った
最適なソリューションを
ご提案いたします



<https://kakuta.co.jp>

電子営業部

〒116-0001 東京都荒川区町屋1-38-16 (菱興町屋ビル3階)

TEL 03-6859-2600

FAX 03-6859-4940 (お見積)

FAX 03-6859-4941 (ご注文)

信頼されるパートナーになりたい。

《営業品目》

- ◇コネクタ
- ◇クーリングファン
- ◇モーター/トランス
- ◇ケーブル・アッセンブリ
- ◇各種eco商品
- ◇光通信機器
- ◇太陽光発電システム



www.tominagadk.co.jp

《特約店》

- (株)七星科学研究所
- 山洋電気(株)
- 日立金属(株)



富永電気株式会社

本社/〒101-0021 東京都千代田区外神田2-11-8 富永ビル
TEL.(03)3255-0821(代) FAX.(03)3255-0856



エレクトロニクスの
総合商社です

www.daiwa-musen.com

即納品5000品目からお選びください

大和無線電機株式会社

ISO14001 JQA-EM3267

本 社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-8

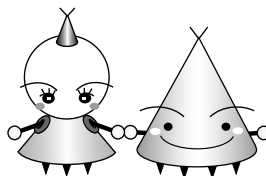
☎03-5846-8361 FAX03-3834-3211

特約代理店

オムロン・サンケン電気・SMK・ミネベアミツミ
東京コスモス電機・日本電産コパル電子・日精電機
ホーザン・センサータ・キムラ電機・KOA

東亜無線電機株式会社

電気部品・電気機器・通信機器・情報機器の販売商社



人と情報のネットワークを広げる東亜無線のヒューマンテクノロジー

<https://www.toamusen.com/>



本 社 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-11-7

T E L 06-6644-0117

販 売 拠 点 国内/大阪、京滋、名古屋、関東

海外関係会社 東亜無線(香港)有限公司

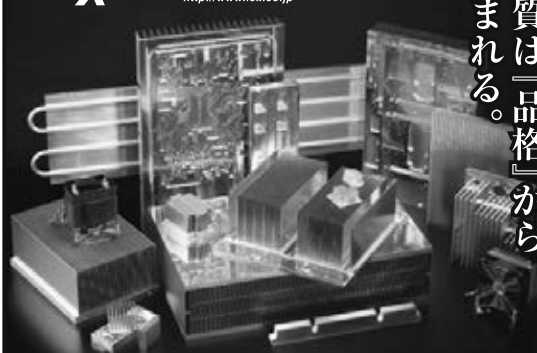
上海埃莱夏科貿易有限公司

TOA MUSEN VIETNAM CO., LTD.

コロナに
負けるな!

編 集 部

LEXMARUSAN
<http://www.lex.co.jp>

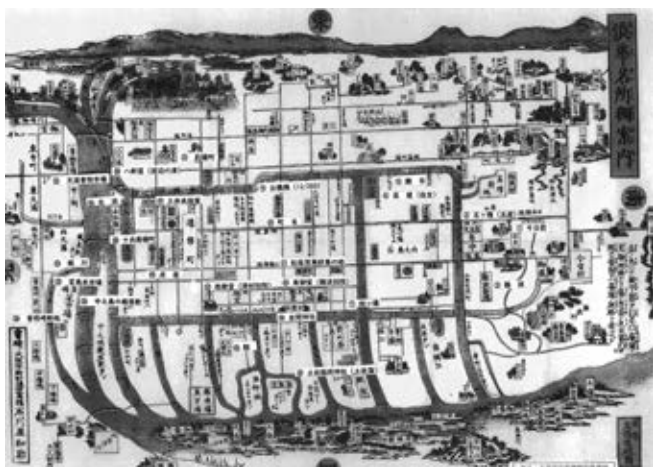


株式会社 丸三電機

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 Tel.03-3253-0411 Fax.03-3253-1935



深澤講師



浪華名所独案内を使って解説

KEP/リモートセミナー

古き良き浪華について解説

近畿電子部品卸商組合（KEP）組織厚生委員会は7月20日、リモートリアルを組み合わせたセミナーを開催した。

講師には武田薬品工業のOBで、現在は少彦名神社に併設されているくすりの道修町

資料館の館長として活躍している深澤恒夫氏を招き、「浪華（大坂）よもやま話」をテーマに講演を行った。

深澤講師は「お話を聞いていただき、参考になっていたかもしれない」と挨拶。

講演では、天保年間の木版

刷り「浪華名所独案内」を紐解きながら、浪速の歴史や由来などを解説。

また、「くすりの町」として約300年の歴史を誇る「道修町の今昔」についてや、江戸時代後期に流行した疫病騒動などについて語った。

『電子部品の総合商社』

セットでお届けします。
～部品調達の手間が省けます～

主要取扱商品

◆電子部品・機器 ◆基板・実装
◆光部品・機器 ◆環境・省エネ機器



日昭無線株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-13-1

電子営業部 TEL:03-3255-6691 特販営業部 TEL:03-3255-6692

長野営業所 TEL:0267-66-1011 鹿児島工場 TEL:0996-26-3355

<http://www.nmk.co.jp>

FUTURE CONNECTION

テクノロジーによる人と未来のかけ橋

●取扱いメーカー

日本航空	電気通信	工業無線	（株）	ホシ	シタ	デ	ン
多治見	無線	電機	（株）	北ナ	タツ	ミ	（株）
多治見	無線	電機	（株）	バロ	ニ	ニ	（株）
アビ	無線	電機	（株）	ナ	ン	ン	（株）
日本	無線	電機	（株）	同	端	子	（株）
住	無線	電機	（株）	大	子	電	（株）
日	無線	電機	（株）	同	子	電	（株）
住	無線	電機	（株）	大	子	電	（株）
サ	無線	電機	（株）	大	子	電	（株）
坂	無線	電機	（株）	大	子	電	（株）



株式会社 三誠

〒113-0034 東京都文京区湯島2-24-13三誠ビル

TEL:03-3834-3161(代) FAX:03-3834-3175

●青森営業所	●仙台営業所	●宇都宮営業所	●東関東営業所
●岩手営業所	●宮城営業所	●東京営業所	●信越営業所
●秋田営業所	●山形営業所	●名古屋営業所	
●山梨営業所	●福島営業所	●九州営業所	
●長野営業所	●多摩工場		

〔国内関連会社〕 三協電子株式会社
〔海外関連会社〕 三誠有限公司（香港）・上海夢清貿易有限公司
Sansei Vietnam Trading CO., Ltd

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp

シートック2022が閉幕

JEPも参加、会場で名簿等を配布



JEPブースで名簿を配布



配布した特製エコバッグと名簿

CEATEC 2022 (シートック) が、10月18日～21日の日程で、幕張メッセで開催された。また、オンラインでも開催され、10月1日～10月31日まで公開され、全国電子部品流通連合会(JEP)も出展した。

主催は、電子情報技術産業協会(JEITA)、共催は情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)とソフトウェア協会(SAJ)。出展者数は562の企業・団体。2019

年にリアル開催された際の出展者数に比べると、約3割減。しかし、初出展は266企業・団体となった。

出展エリアは、目玉とも言える「パートナーズパーク」「スタートアップ&ユニバーシティ」、ソリューションや製品発表、商談等を行う「トータルソリューション」、「キートクノロジー」、「スマート×インダストリー」、エリア規格のない「オンライン」の6種類となっている。

会場では、空間にそのものが存在するように、高精細な3D映像が浮かび上がる京セラの高精細空中ディスプレイや、アマゾンウェブサービス

ジャパンとインテルの、クラウドサービス「AWS」を活用するパートナー企業のサービス・ソリューションを実例展示したもの、さらに娯楽から社会活動まで様々な仮想空間の使い方を提案する、メタ

社(旧フェイスブック)の「METAVERSE EXPO JAPAN 2022」(メタバースエクスポジション2022)などのブースで、見学・体験するため、来場者の長蛇の列ができた。

JEPもアピール

なおJEPでは、シートック2022に参画し、JEPについての紹介や、会員各社の連絡先、各地区団体の活動報告などが掲載されている『JEP会員名簿2023』と、基盤をイメージしたエコバックを一緒に配布。

出展したエリアは、キートクノロジーとなり、当日は東京都電機卸商業協同組合(TEP)の理事や、会員会社の社長らと渡辺勤務局長がJEPブースに立ち、来場客にJEPや名簿について紹介。名簿の活用を積極的に呼び掛けた。



Zoomを使い、意見交換会を実施

JEP/TEP Show 意見交換会を開催

展示会名は「ECU Show」に変更

エレクトロニクス コンポーネント & ユニット ショー

全国電子部品流通連合会（JEP）と東京都電機卸商業協同組合は7月26日、6月15日・17日に掛けて開催された、電子機器トータルソリューション展2022のJEP/TEP Show 出展者と、日本電子回路工業会の高原邦夫事務局長、岡本会長（当時）、川鍋季明流通近代化委員長を迎え、Zoomで「JEP/TEP Showの次回出展に向けた意見交換会」を開催した。

冒頭、高原事務局長が2022年度展の状況を振り返り、出展者からの評価が高かったが、来場者からの評価が低かったこと、来場者の業種／実態、来場者の業種を基に、その中の電子・電気機器製造内訳、来場者の職種等について説明。

特にJEP/TEP Showに来場した職種では、営業と企画関係が多く、他の展

示会と違い、研究・開発が多かったことを報告。

岡本会長は「その他の電子・電気機器製造の来場者が増加しているというが、我々が出展したことで、来場が増えた業種などを聞きたい」と質問。高原事務局長は「医療関係が増加しており、他の展示会と違う動向になっている。アンケートを見ると、その他電機・電子機器製造の関係者が多く来場しており、JEP/TEP Showについては間違いなく、来場者の層が厚くなっている」と回答。

また高原事務局長は、2023年度展を5月31日～6月2日、東京ビッグサイトで実施する予定であることを説明。

また、小間数と参加者数の拡大に向け、以下の4点が提案された。

- ①出展者交流会の実施
- ②展示会名称の変更

③JEP/TEPが持つ特質を活かした企画の実施

④座談会の開催

①については、出展者同士の交流の場を設けることで、新たなビジネスチャンスを作成する。例えば、展示会2日目にも展示フロアを会場に、飲食物などを用意し、出展者同士での会話のチャンスを作る。

②については、展示会名称の変更、もしくはサブタイトルを付けることを提案。これは、JEP、TEPは関係者であれば詳細を知っているが、関係のない来場者にとっては、どのような展示会であるのか、どのような物が展示されているのか、分からないのではなかという懸念から、展示内容をダイレクトに理解できるようにしたものとしてはどうかと提案。

③については、JEP、TEPは、電気街にあるような

イメージがある。例えば、競売やセリ、即売会といったイベント的なものを実施し、雰囲気の高揚を図る。加えて、展示会を具体的に使うには、

どうしたら良いかという来場者が出てくるのが考えられるので、コンシエルジュのような対応を行う受付的なものを用意する。

④では、パネルディスカッションを行うことを提案。通常、パネルディスカッションは、業界を代表するような人話が上手な人、業界に知見が深い人を招聘し、現在ある問題、取り組みなどについて語ることになる。そのため、このディスカッションからJEPとTEPによるセミナーにつなげ、参加者数を増やす。これらの提案を聞いた意見交換会参加者それぞれからは、以下のようなコメントがあった。

「私も分析しているが、当社展示の場合、生産技術などの方が多く来場した。」

また会場を見学し、当社の展示と他社の展示を見て、違いを感じた。今後は、出展内

容の比較や、JEP、TEPとの比較ができるかと面白いのではないだろうか。

交流会や座談会には、積極的に参加したい」、「展示会でセミナーを行ったが、当社は1桁の参加者だった。

セミナーを盛り上げられるような体制作りをお願いしたい」、「出展目的として、当社の知名度、イメージ向上を目指すして出展したが、企業のイメージを伝え切れていない。

今回は、そういった部分を分析したい」、「京都からの出展だったので、関東方面のユーザーを開拓したいと考え、出展した。今回は、さらに出展する装置をビルトアップしていきたい」、「4つの提案についてだが、出展者の交流会、パネルディスカッションは、ぜひやってみたい良いと思う。名称変更についてだが、もっと分かりやすくしても良いと思う。」

ただ、電気街のイメージについては、難しいと思う。出展している商品が、取引先メーカーのそのものではなく、そこから得られる独自の

アプリケーションを駆使して出展している。そのため、従来からの業界イメージの脱却というのがあるかと思うので、抵抗を感じる。

要望として、出展物の実機展示が少なくなり、イメージが定着すると、それを目的にする来場者が減るのではと思う」、「展示内容も大事だが、来場者に足を止めてもらう場所も大切だと思う。来場者の目や足が止まりやすいよう、場所の相談や打ち合わせをさせてほしい。また、リブランディングについてだが、積極的にいう価値があると思う」、「今回、盛況なブースがあり、感銘を受けた。特徴のある良い物を展示するのが、新規開拓につながる」と再認識した。

当社ブースは商材柄、医療・ヘルスケアに販売活動をしており、メーカーと成功事例をタイアップして展示している。それが数字で見えた。やはり1年を掛け、特徴のあるものを出し、集客も招待状を出し、社員も勉強していくことが必要。実際に、仕入れメーカーもきてくれて、アドバイ

スをいただいた。社員も空き時間に新規開拓を行い、成果になっている」、「3回目の出展になったが、今年は製造メーカーが多かった。取引のないところにも積極的に足を運ぶようにしているところだ。展示会の名称変更は、良い案だと思う。交流会もやっていただきたい。

展示会のWEBページだが、そこから出展企業のホームページにまで見にいっているかが気になる。出展者が、どんなことを行い、どんな物を展示しているのかを、分かりやすくしてほしい」、「当社は、海外工場の紹介を行い、いくつかの引き合いをいただいた。我々は商社なので、事前準備を行い、メーカーの協力をしっかりと仰ぐ必要がある」、「通路をもう少し広くしてほしい」、「ブース配置などの相談ができるようにしてほしい」。

最後に岡本会長は「本日は、貴重な意見をいただき、ありがとうございます。名称変更までは、考えていなかった。ぜひ、来年も参加いただきたい。参加者が増えれば増えるほど、盛り上がるかと思う」と語り、意見交換会が終了した。

●新名称が決まる

後日、JEP/TEP Showは、2023年から「Electronics Component & Unit Show」(エレクトロニクス コンポーネント & ユニット ショー)と名称が変更になることが決まり、「ECU Show」と略されることになった。

また、新しい取り組みとして、電子機器トータルソリューション展において、「ECU Show」を含めた構成展の魅力を高めるため、目玉となるイベントを実施。さらに、出展者同士においてもビジネスは成立することから、出展者交流会を開催し、ビジネスを広げる。これ以外に、若い来場者を誘致するため、メタバースやESスポーツなどの注目の高いものを体験できるようにすることを、検討していくことが決まった。



岡本無線電機株式会社

OKAMOTO ELECTRONICS CORPORATION

最新エレクトロニクスのフレキシブルな交差点 電子部品の総合商社

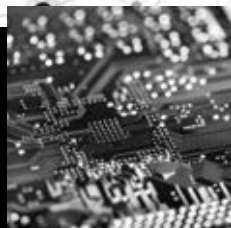


本社 〒556-0005大阪府浪速区日本橋4丁目8-4 TEL.06(6643)4671(代) <https://www.okamotonet.co.jp>
 大阪営業本部 06(6327)1133 東京営業本部 03(3412)8211
 名古屋営業本部 052(249)3820 販売促進本部 06(6327)1461
 関連会社 おおとり株式会社(国際本部) 06(7167)8820 香港・深圳・上海・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・マレーシア

IoTソリューションをアナログ最先端技術で

— High-end Analog Solution for Your IoT. —

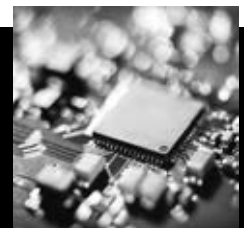
三共社が選ばれる理由



最適なアナログ回路提案



専任FAEによる技術サポート



産業機器顧客向け小口対応

取扱
メーカー

- アナログ・デバイス社
- セイコーソリューションズ株式会社
- ザイリンクス株式会社

- エイブリック株式会社
- 京セラ株式会社
- 太陽誘電株式会社

- セイコーインスツル株式会社
- 株式会社シーズウェア

- セイコーエプソン株式会社
- 日本モレックス合同会社

SANKYOSHA

株式会社 三共社

<https://www.sankyosha.co.jp/>

本社 〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町1番地 三共美倉ビル TEL.03-5298-6201 / FAX.03-5298-6202
 大阪支店 TEL.06-6309-6201 / FAX.06-6309-6202 名古屋支店 TEL.052-959-2833 / FAX.052-973-1623
 長野支店 TEL.026-219-3890 / FAX.026-219-3891 香港オフィス / シンガポールオフィス

サトパツ
SATO PARTS

サトパツ株式会社

もう、
はなさない！

C-100-X series
600V-20A

for M5~M6 screw head

C-100-H series
300V-5A

for M3~M4 screw head

C-100 series
30V-5A

New! C-100-X 新登場!

SaiCon

パワークリップ M5~M6 ネジ頭対応。600V-20Aの高電圧タイプ!

特許登録済

www.satoparts.co.jp

使い方 NAVI



C-100のカバー装着方法を
動画で確認